



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号 3階 電話 (098) 869-8711
2025年6月27日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第100回おきぎん企業動向調査」
(2025年4-6月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：上門

問い合わせ先：（電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200）

メール：oei-corp@okinawa-bank.co.jp

現場主義とお客さまからの信頼

第 100 回おきぎん企業動向調査（2025 年 4-6 月期）調査結果

～県内（地域・業種別）の経営環境と業況感～

I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断（当期実績、来期見通し）を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】 2025 年 5 月下旬～6 月中旬

【調査対象】 県内企業 460 社回答

【調査方法】 WEB アンケート調査

【調査内容】 ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他 投資需要

—おきぎん DI とは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変（変わらない）」、「悪化・低下・減少」のいずれかで答えいただき、各割合を表したものです（本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用）。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用。

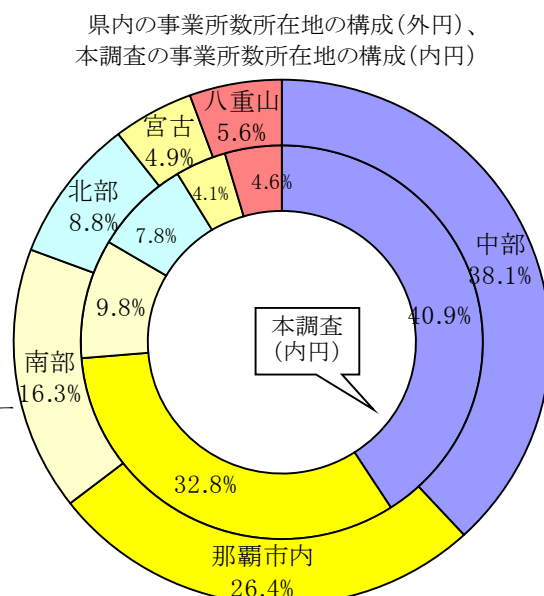
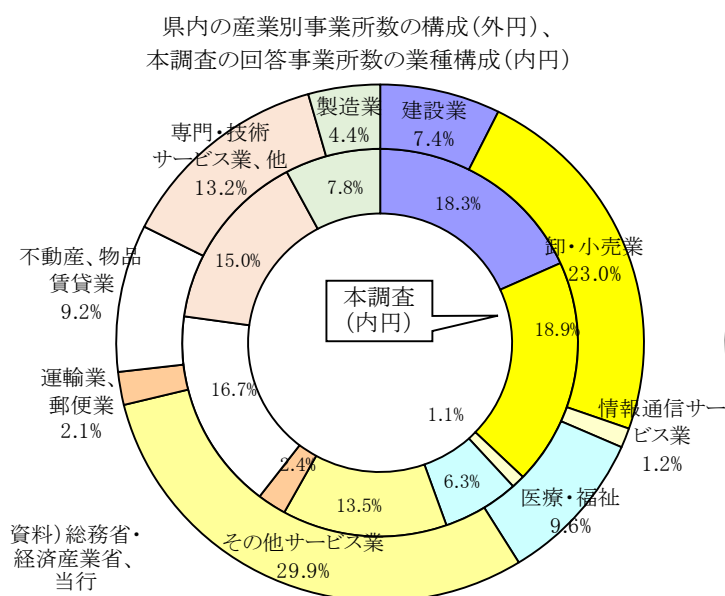
① 「好転・上昇・増加」＋「不変（変わらない）」＋「悪化・低下・減少」＝100%

② $DI（景気動向指数）＝「好転・上昇・増加」の割合（\%）－「悪化・低下・減少」の割合（\%）$

従って、DI がプラスなら景気が良い（または上昇見込み）、マイナスなら悪い（または下降見込み）、と捉えます。

➤ 調査対象企業の業種・所在地構成

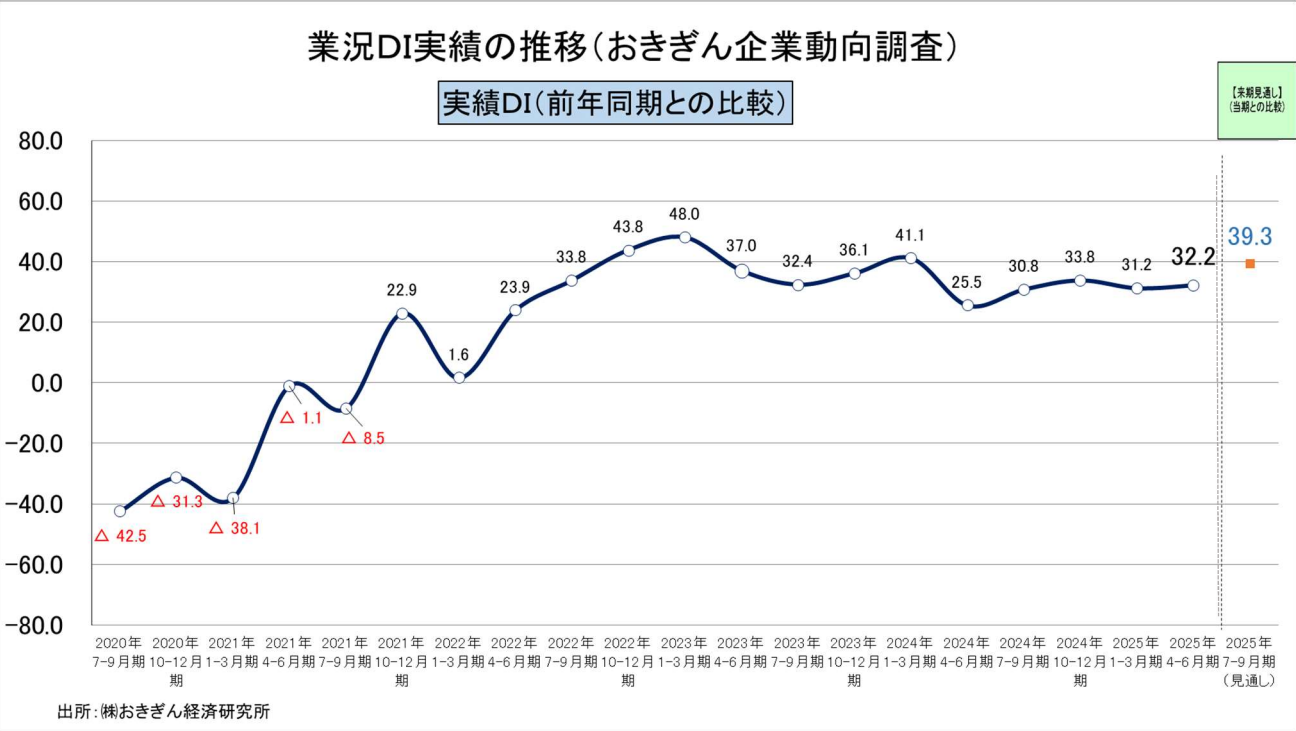
本調査の業種構成を県内事業所データ（令和 3 年経済センサス活動調査）と比べると、【建設業（本調査では土木・建築業）】はサンプリング数が多く、【その他サービス業（宿泊、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など）】はサンプリング数が少なくなっています。



II. 調査結果（総論）

➤ 当期の業況 DI は **32.2**（前年同期比）となり、15 期連続でプラスとなりました。来期の業況見通し DI は **39.3**（当期比）となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。業況 DI 実績の推移について、コロナ禍からの回復が落ち着き下降気味にあるものの、高い水準で推移しています。

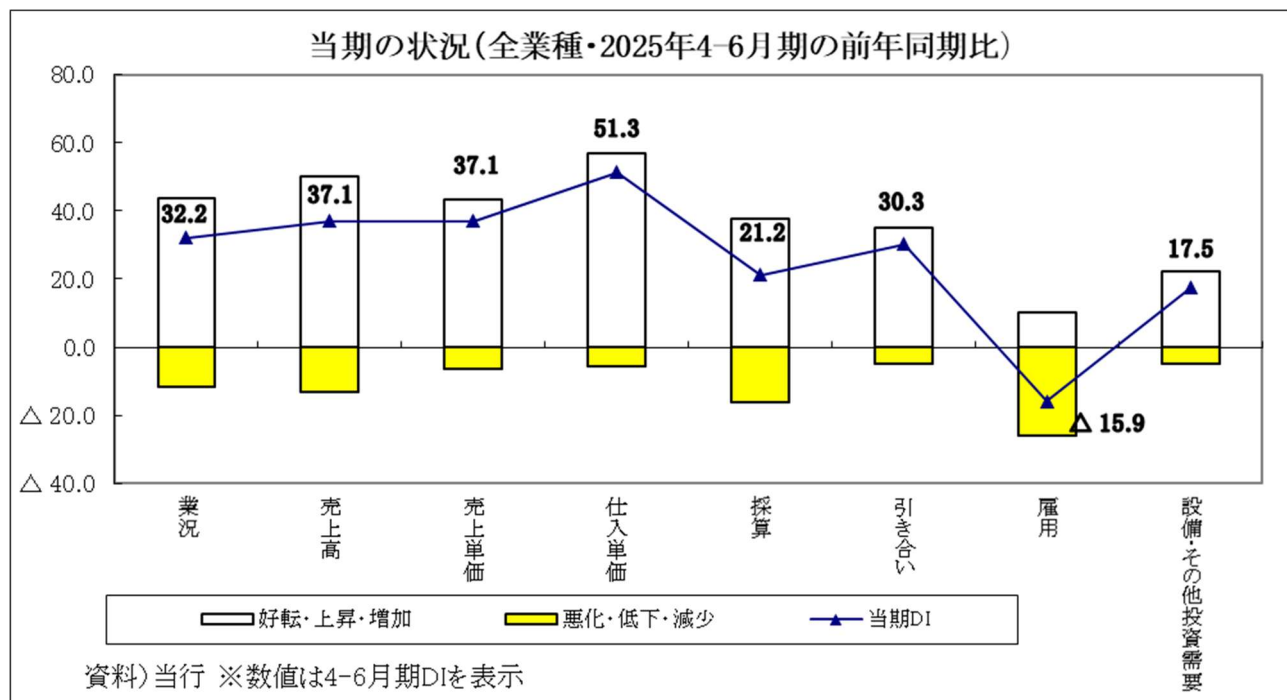
【業況DIの推移】	2024年				2025年		
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期見通し
項 目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全 業 種	41.1	25.5	30.8	33.8	31.2	32.2	39.3
製 造 業	52.0	37.0	29.4	20.0	△ 13.0	19.4	50.0
土 木 業	22.2	△ 15.4	61.5	44.4	42.1	17.6	29.4
建 築 業	51.2	17.1	32.4	40.0	47.1	23.9	41.8
卸 売 業	24.0	21.4	13.6	18.5	46.2	26.3	15.8
小 売 業	6.5	△ 19.0	28.6	30.0	33.3	32.7	40.8
情報通信サービス業	0.0	14.3	20.0	66.7	33.3	0.0	60.0
医療・福祉	42.3	27.8	10.0	15.8	10.7	27.6	37.9
その他サービス業(宿泊・飲食等)	58.6	44.0	68.2	53.1	70.0	45.2	45.2
運輸業、郵便業	75.0	37.5	55.6	50.0	33.3	45.5	36.4
不動産業、物品賃貸業	48.8	58.6	18.5	33.3	30.6	37.7	40.3
専門・技術サービス業、他	56.7	26.3	25.0	27.8	10.8	37.7	39.1



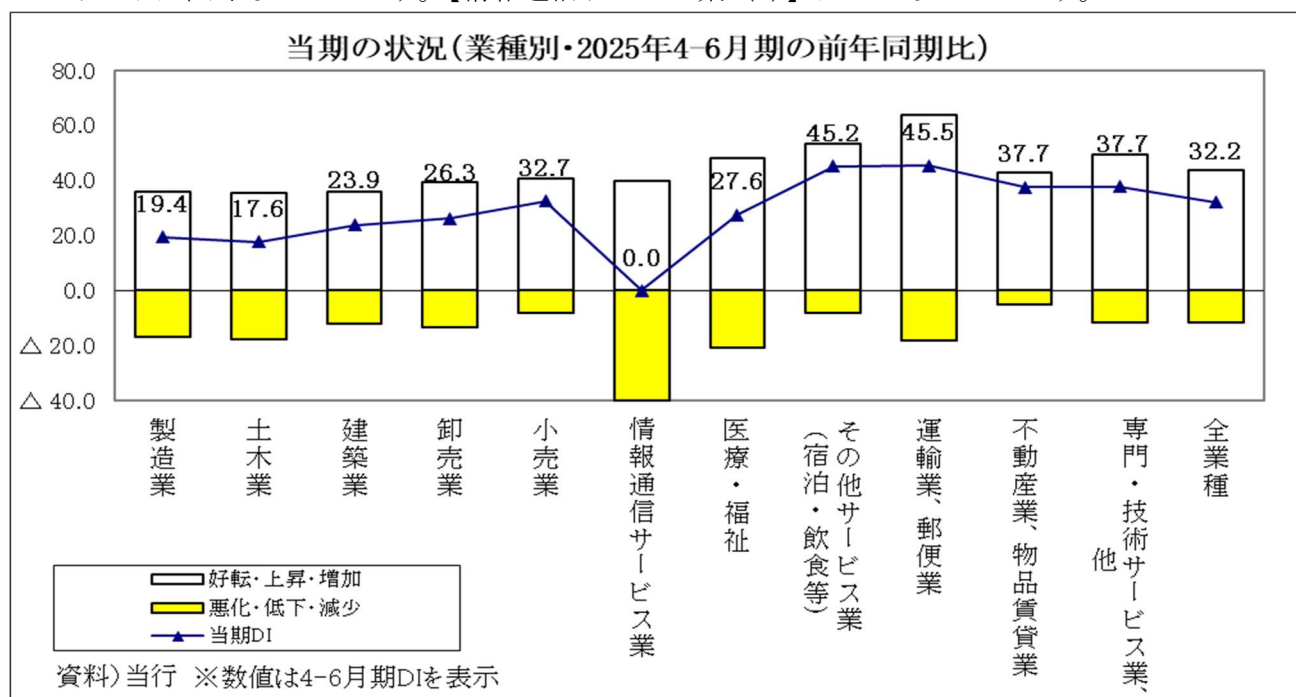
※「2025 年 7-9 月期（見通し）」39.3 については、今期（2025 年 4-6 月期）との比較であり、前年同期との比較ではありません。このため折れ線グラフは連続していません。

1. 当期の状況（2025 年 4-6 月期の前年同期比）

- 当期の業況 DI は **32.2** となり、業況改善がみられます。項目別では、売上高（37.1）や引き合い（30.3）などの項目でプラスとなりました。採算（21.2）は仕入単価（51.3）上昇により他項目と比較しポイントは低くなっています。雇用（△15.9）はマイナスとなっており、不足感が続いています。

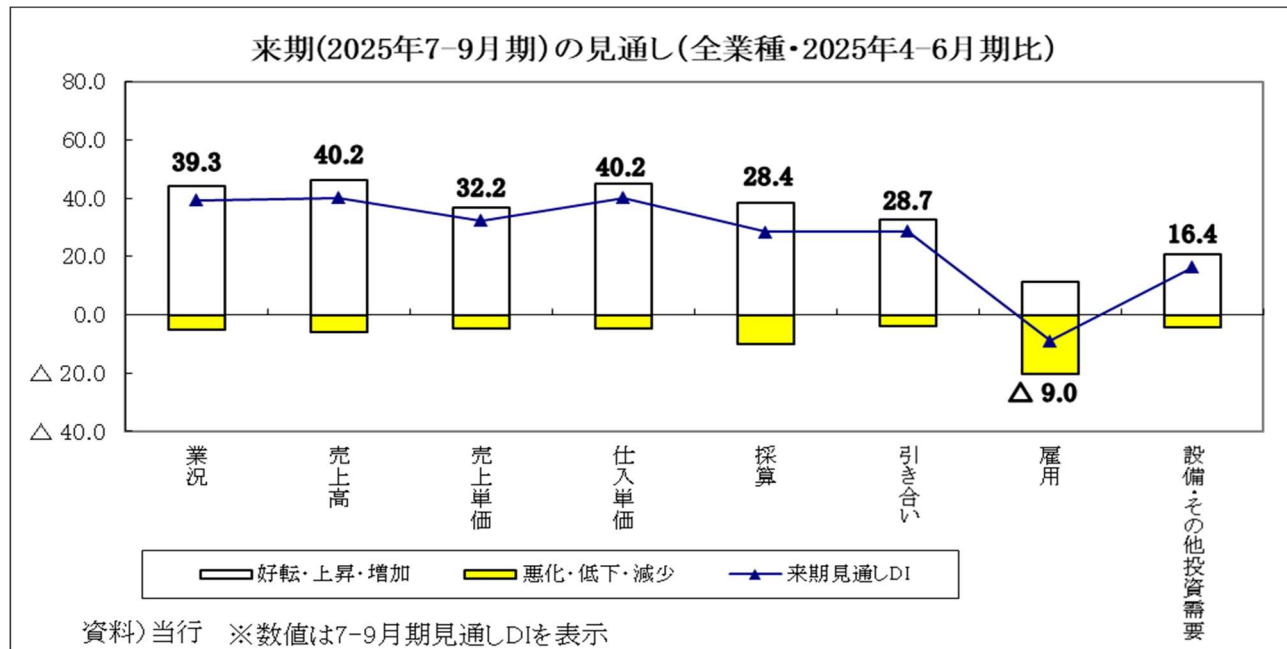


- 業種別では、【運輸業、郵便業（45.5）】、【その他サービス業（宿泊・飲食等）（45.2）】などでポイントは高くなっています。【土木業（17.6）】や【製造業（19.4）】は、他業種と比較しポイントは低くなっています。【情報通信サービス業（0）】は0となっています。

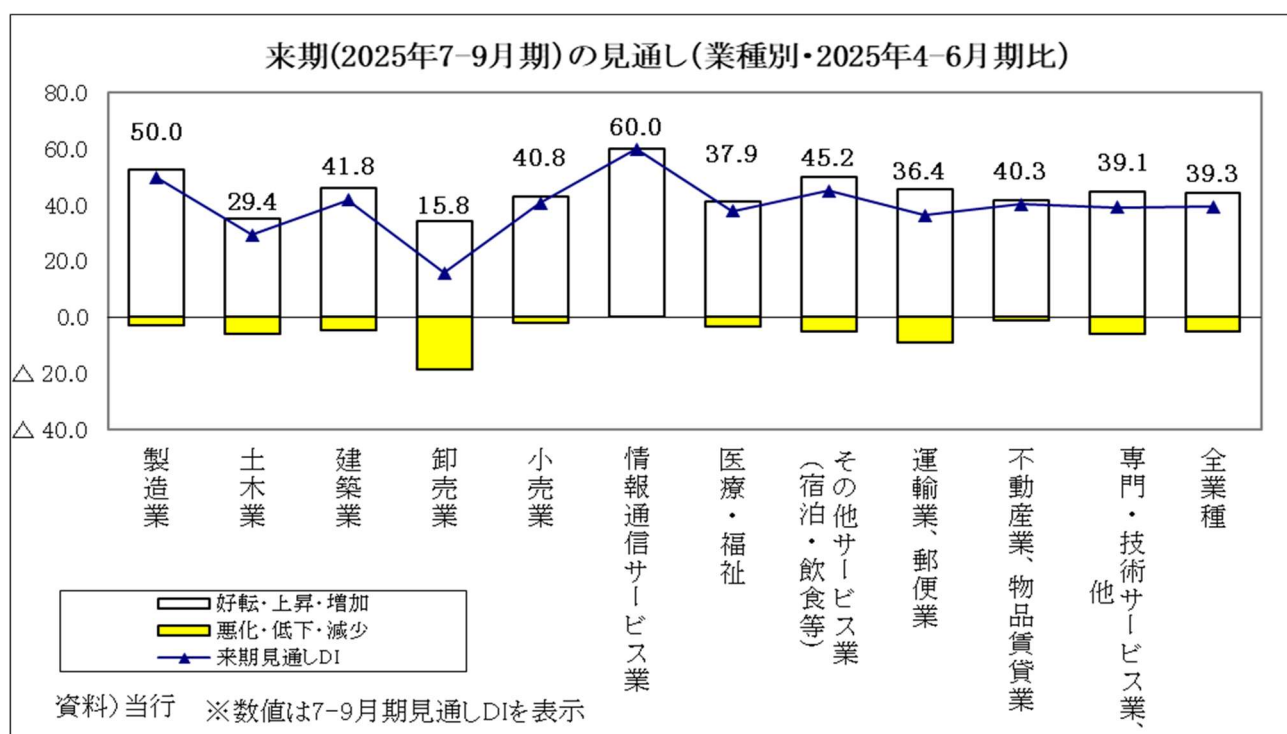


2. 来期の見通し（2025 年 7-9 月期の当期比）

- 来期の見通し業況 DI は **39.3** となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。項目別では、売上高（40.2）や引き合い（28.7）、採算（28.4）などで改善の動きが見込まれます。雇用（△9.0）は不足感が続く見通しとなっています。

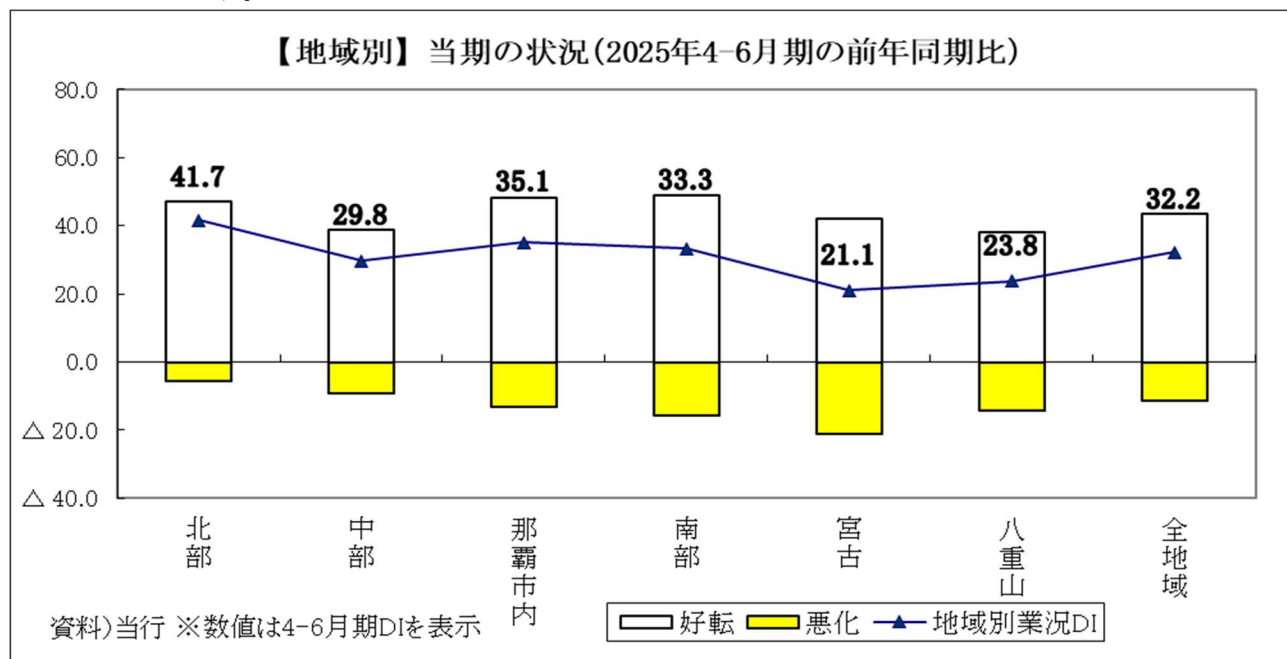


- 業種別では、全業種においてプラスとなりました。【情報通信サービス業（60.0）】は受注単価の引き上げ予定などからポイントは高くなっています。【製造業（50.0）】や【その他サービス業（宿泊・飲食等）（45.2）】は、観光客増加や売上単価の引き上げ予定などから、ポイントは高くなっています。

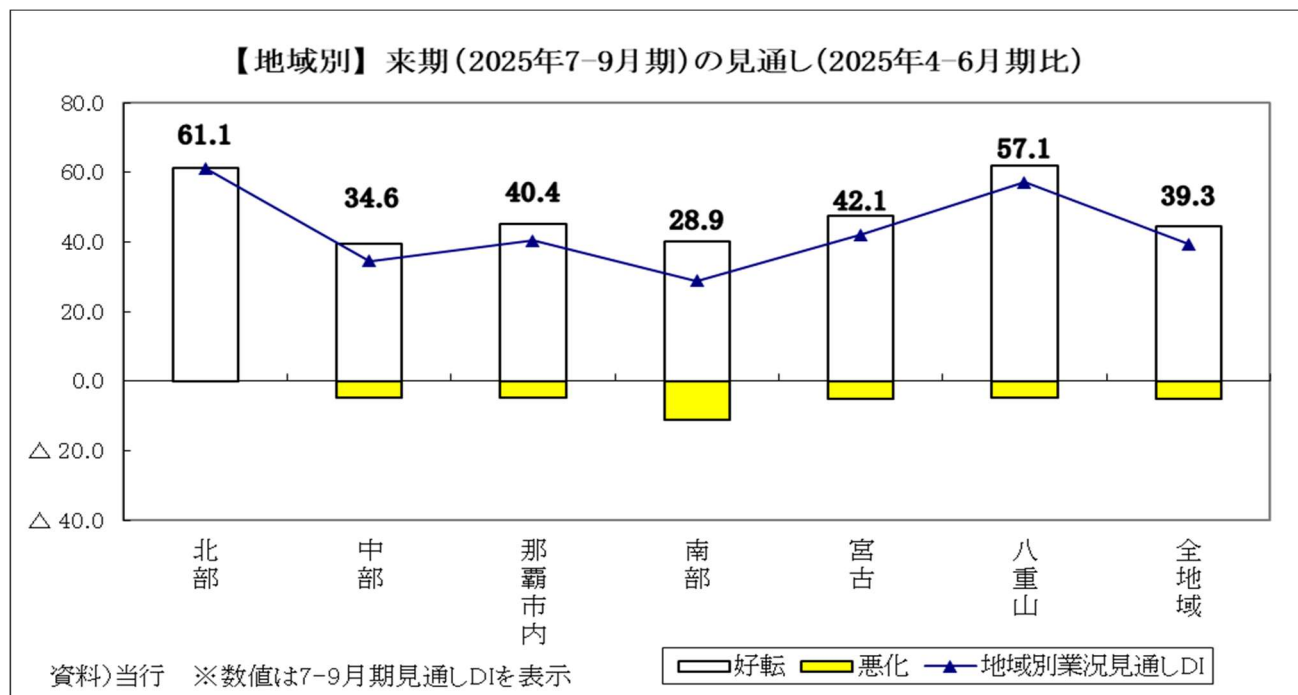


3. 地域別の業況 DI

- 当期の地域別 DI（前年同期比）について、北部（41.7）は観光関連産業の改善や工事受注増加などからポイントは高くなっています。一方、宮古（21.1）、八重山（23.8）は建設関連の事業者において受注減少した事業者がみられることなどから、他の地域と比較しポイントは低くなっています。



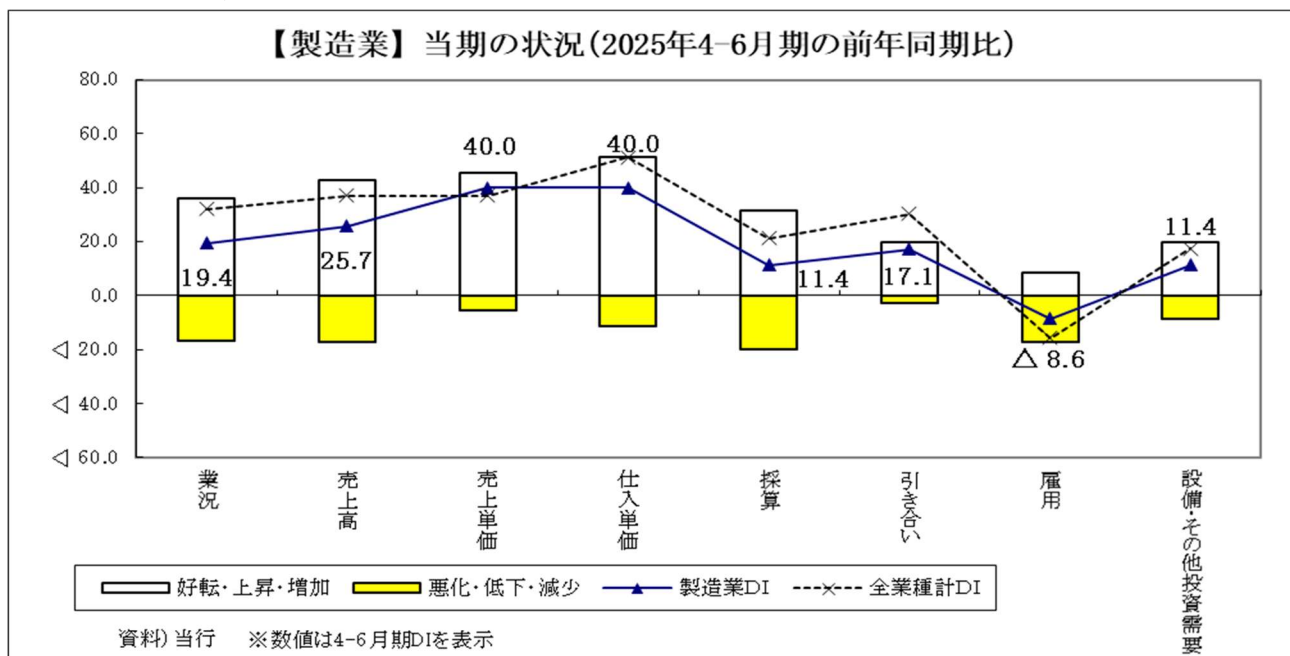
- 来期の地域別見通し業況 DI（当期比）について、北部（61.1）は建設関連の工事受注や、引合い増加を見込む事業者などにより、ポイントは高くなっています。一方、南部（28.9）は今期と同様の業況推移を見込む事業者が多いことなどからポイントは低くなっています。



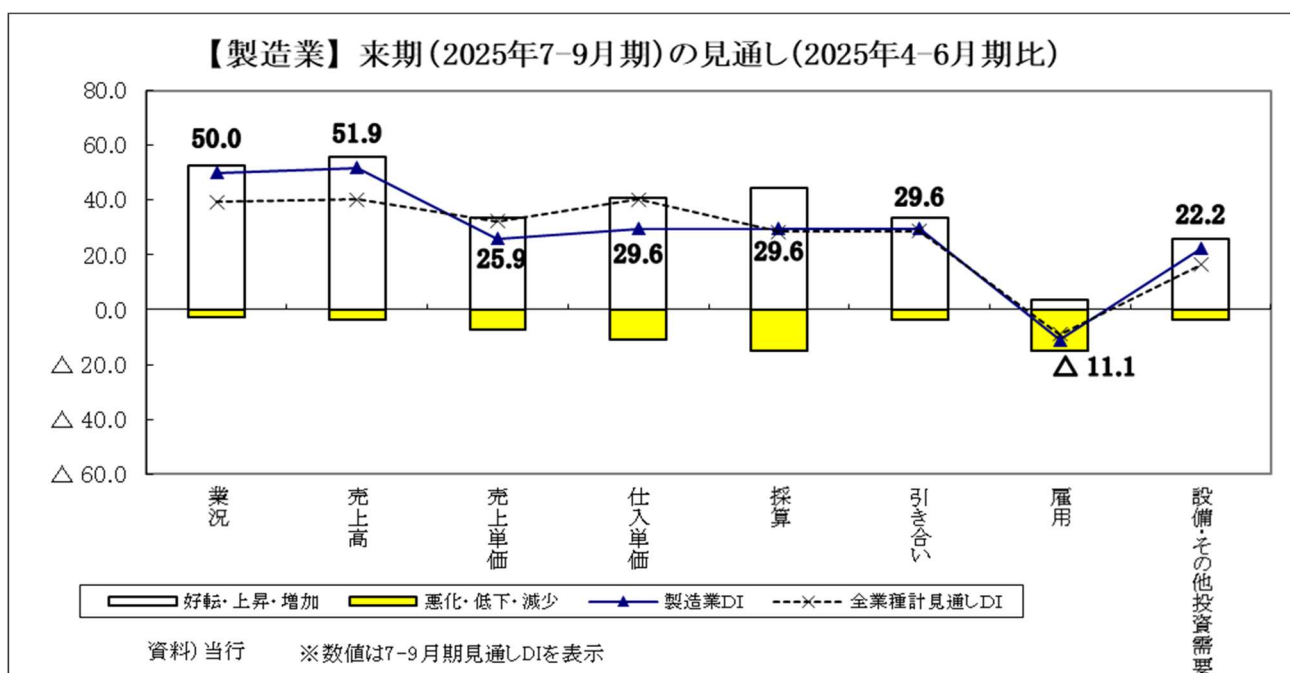
Ⅲ. 調査結果（各論）

1. 製造業（回答企業：36 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **19.4** となりました。売上高（25.7）及び売上単価（40.0）は食品製造業や生コン製造業などで単価が改善した事業者がみられました。仕入単価（40.0）は原材料費の増加が続いています。

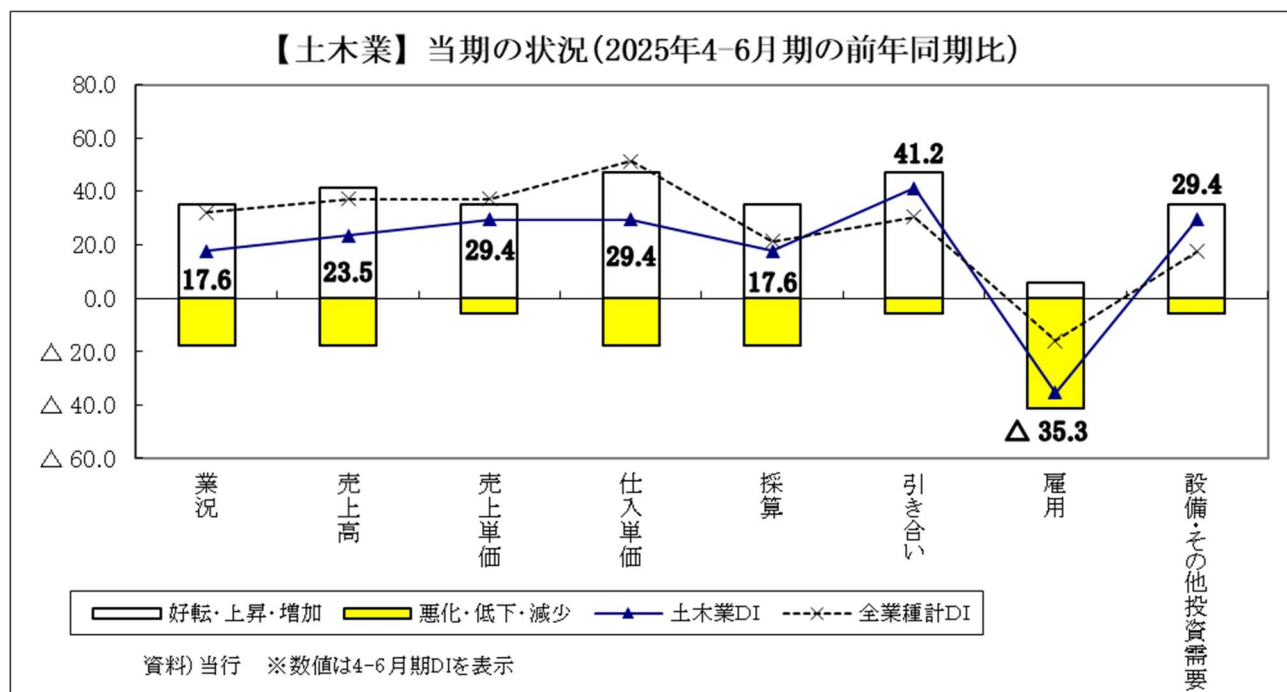


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **50.0** となりました。売上高（51.9）は増加見込みとなっています。仕入単価（29.6）の上昇が続くことが見込まれます。一方で売上単価（25.9）と価格転嫁による採算の改善が見込まれます。雇用（△11.1）はマイナスとなっており、引き続き人材不足がみられます。

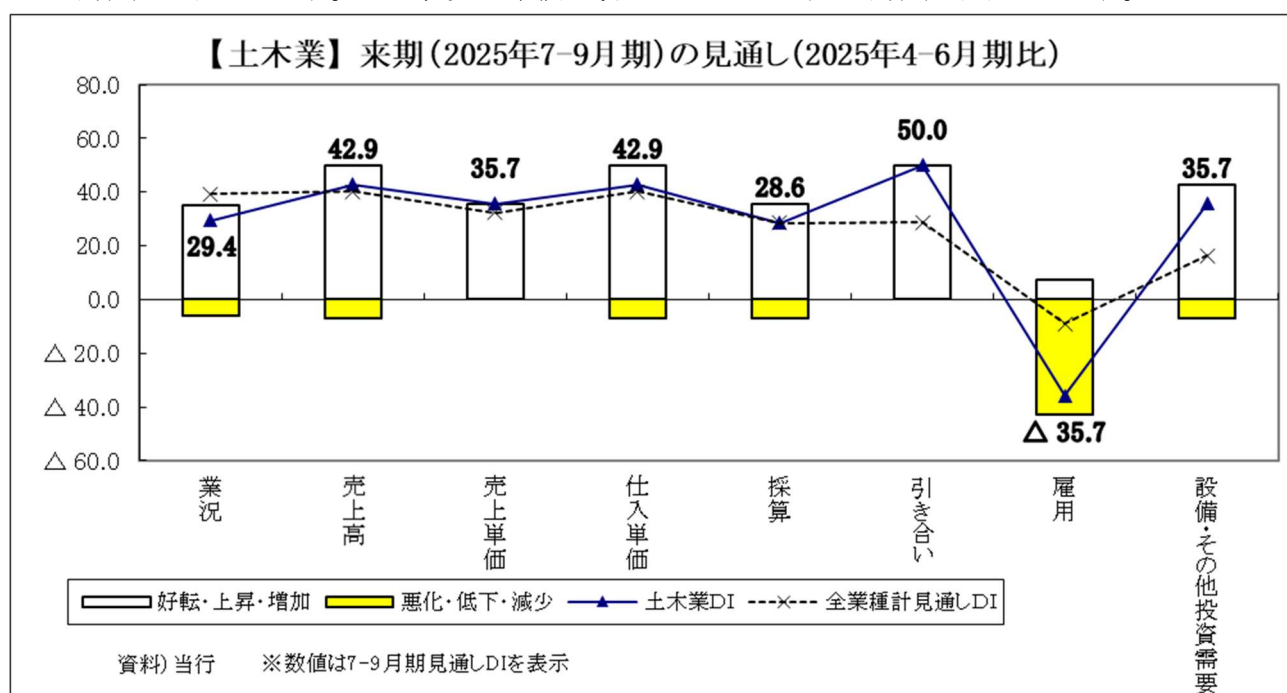


2. 土木業（回答企業：17社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は公共工事（基地関連工事など）の受注増加などから **17.6** となり、業況改善がみられます。一方、建設資材高騰による仕入単価（29.4）の上昇が続いており、採算（17.6）についてポイントは低くなっています。雇用（△35.3）はマイナスとなっており、若手人材の不足や、退職に伴う人材不足がみられます。

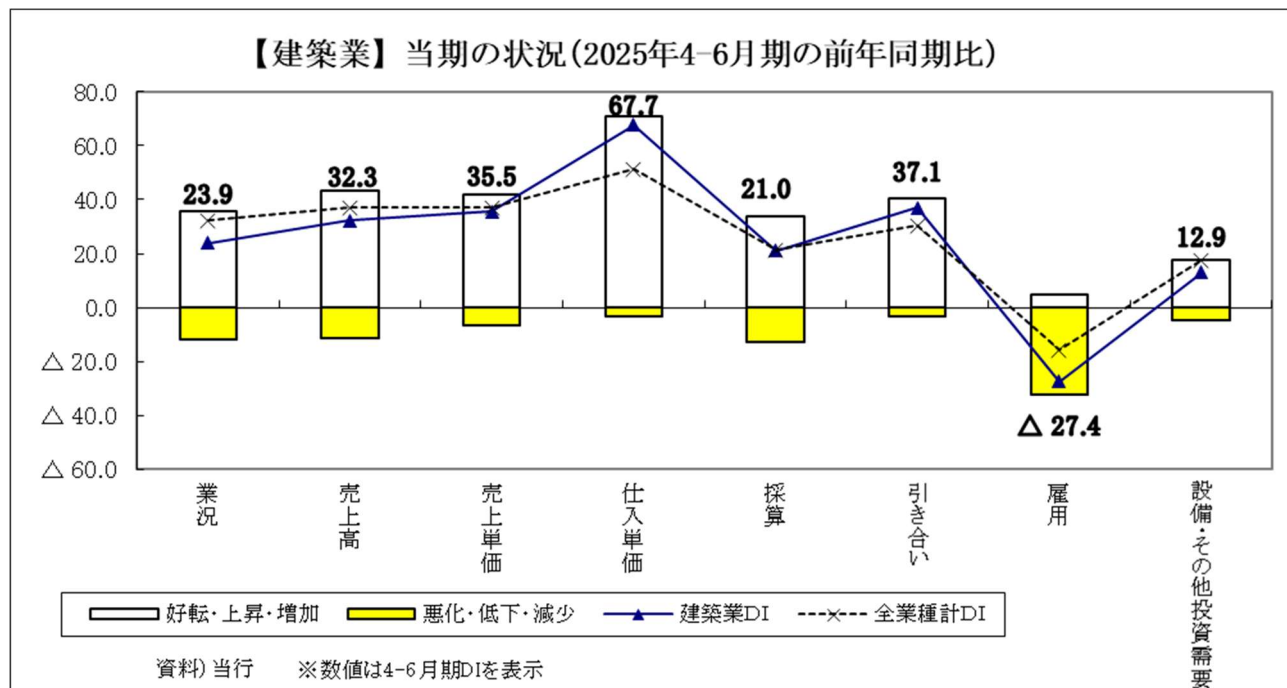


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **29.4** となりました。公共工事の受注により安定推移を見込む事業者がみられます。また、受注単価の引き上げを予定する事業者もみられます。

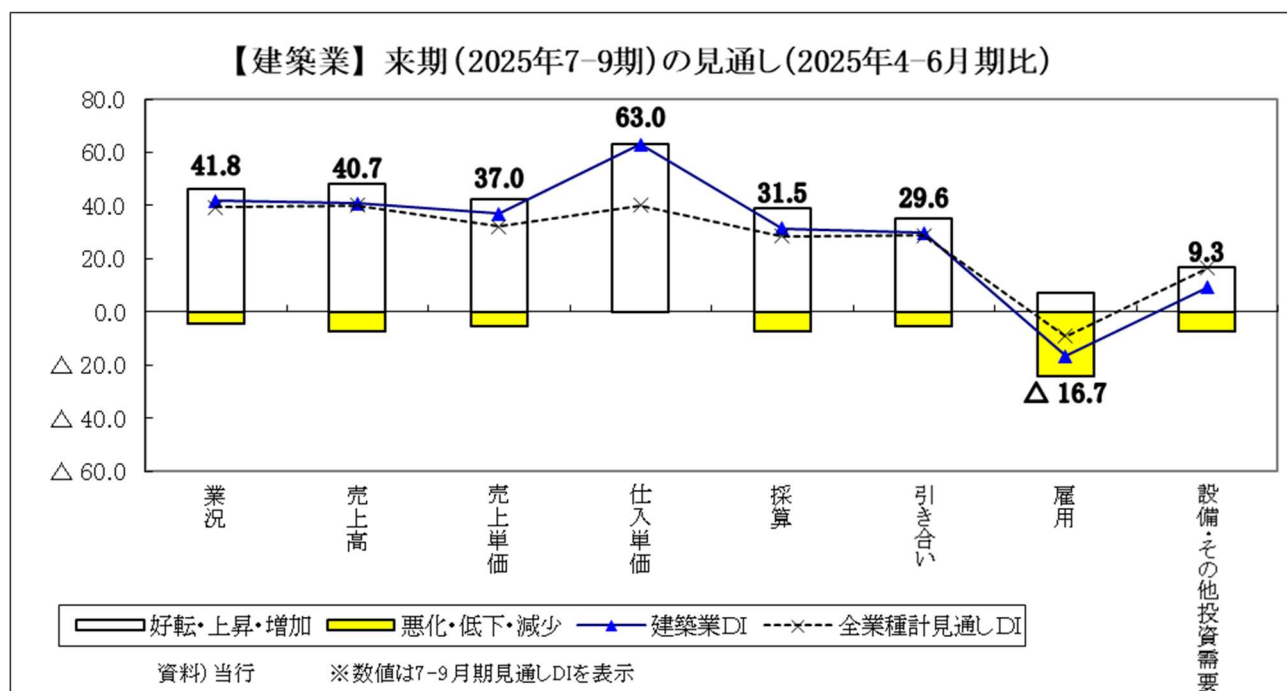


3. 建築業（回答企業：67社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は公共・民間工事の受注増加などから **23.9** となり業況改善がみられます。売上単価の高い受注のあった事業者もありました。雇用（ $\Delta 27.4$ ）は、退職に伴う人材不足などがみられます。

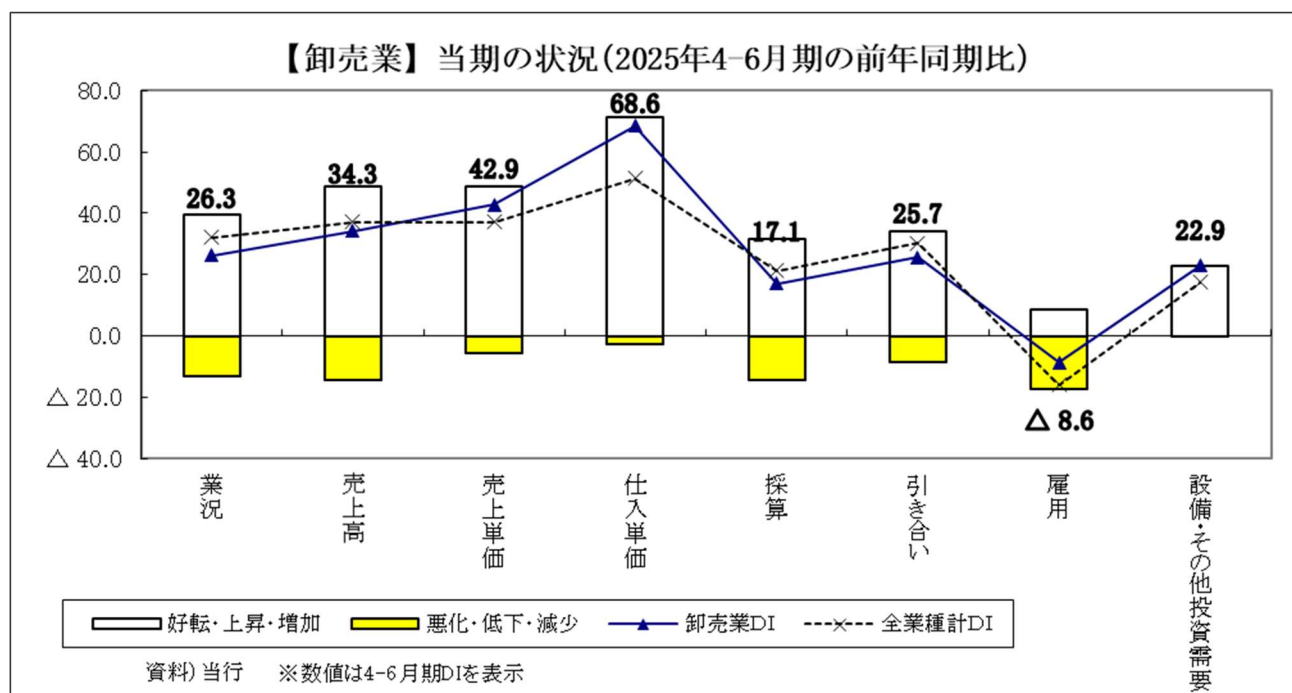


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は民間工事の受注見込みなどから **41.8** となり、業況改善の動きが見込まれます。仕入単価（63.0）は、ポイントは高くなっています。売上単価（37.0）、採算（31.5）は他業種と比較しポイントは高くなっています。

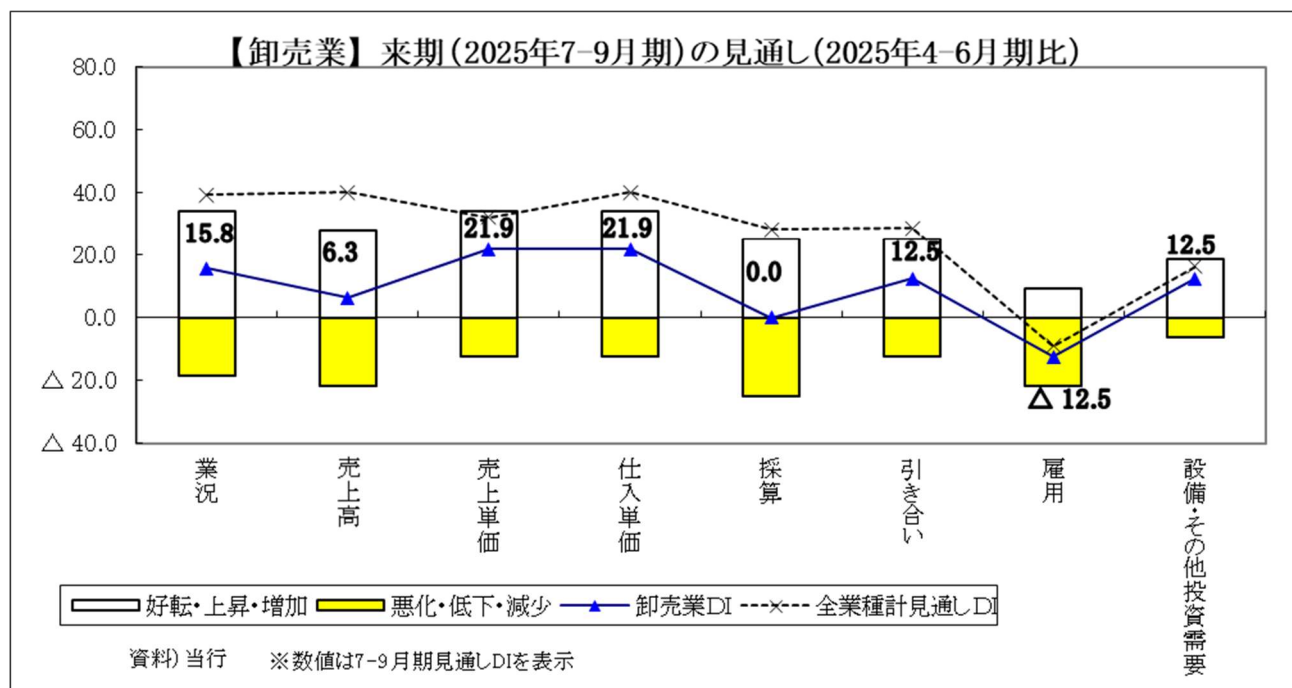


4. 卸売業（回答企業：38 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **26.3** となりました。売上高（34.3）は価格転嫁による売上単価（42.9）の改善や取引先の増加などから業況が改善した事業者がみられます。

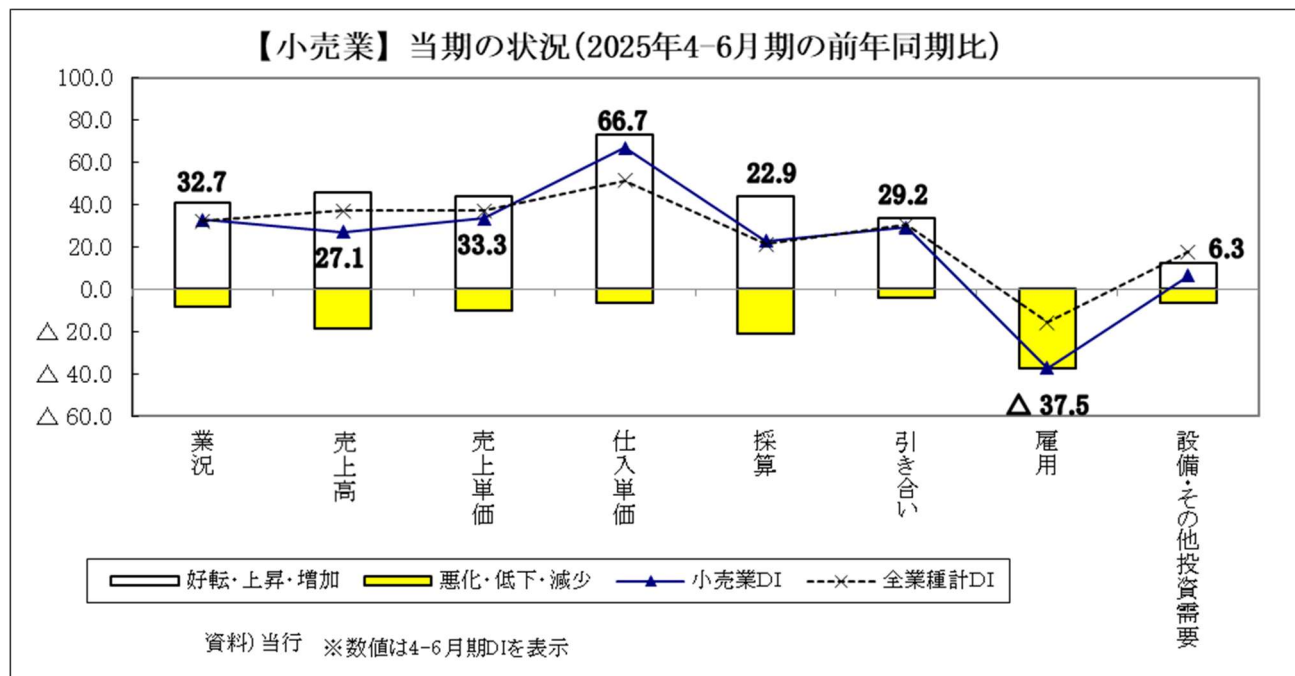


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **15.8** となりました。価格転嫁を進める予定の事業者が多く、一方で物価上昇の背景から、買い控えなどによる売上の伸び悩みや採算悪化を想定している事業者もみられます。

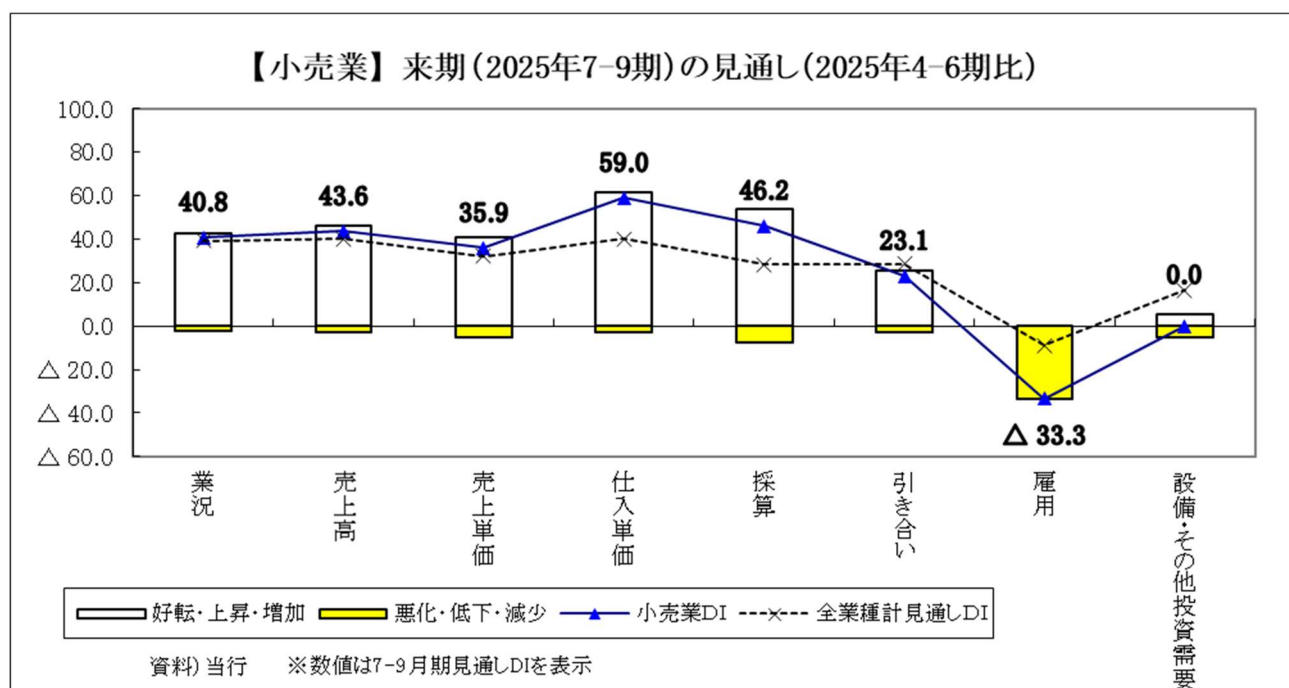


5. 小売業（回答企業：49 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **32.7** となりました。飲食料品小売業は、観光客増加などから、売上高は改善しています。その他小売業を含め、仕入単価（66.7）は上昇しているものの、売上単価（33.3）と価格転嫁による採算（22.9）の改善がみられます。

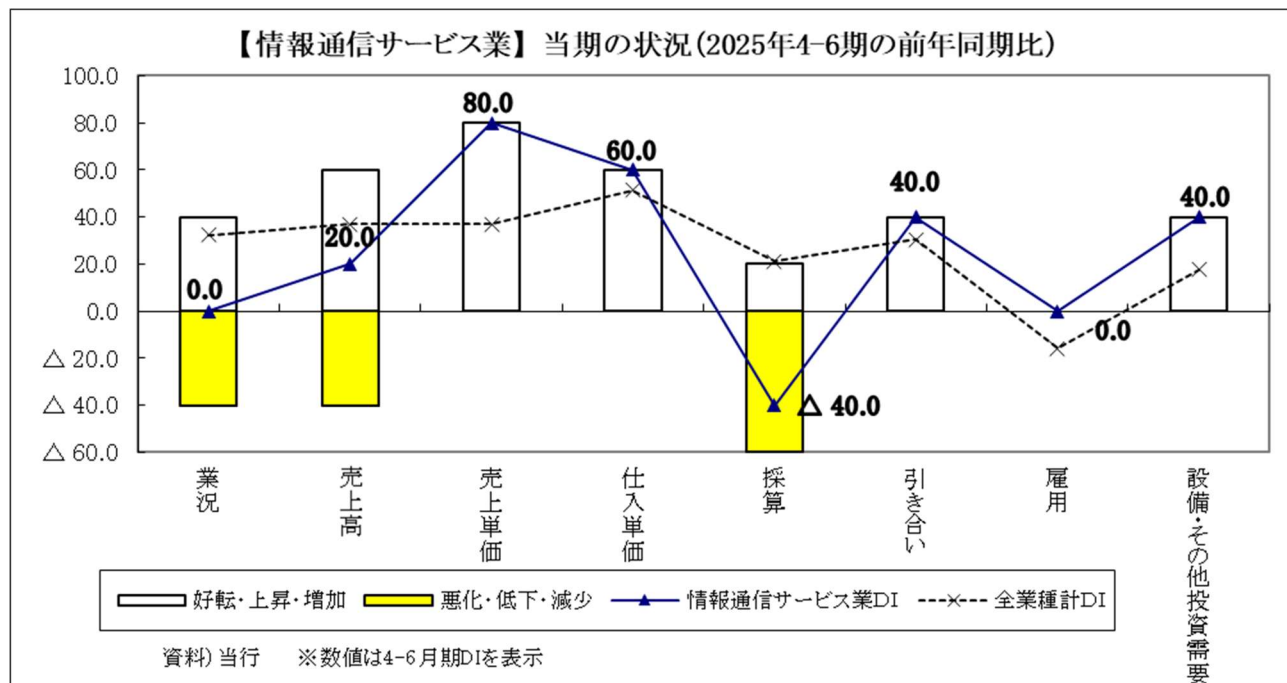


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **40.8** となりました。観光客増加などから売上高（43.6）のポイントは高くなっており、業況改善の動きが見込まれます。雇用（△33.3）は、不足感が続く見通しとなっています。

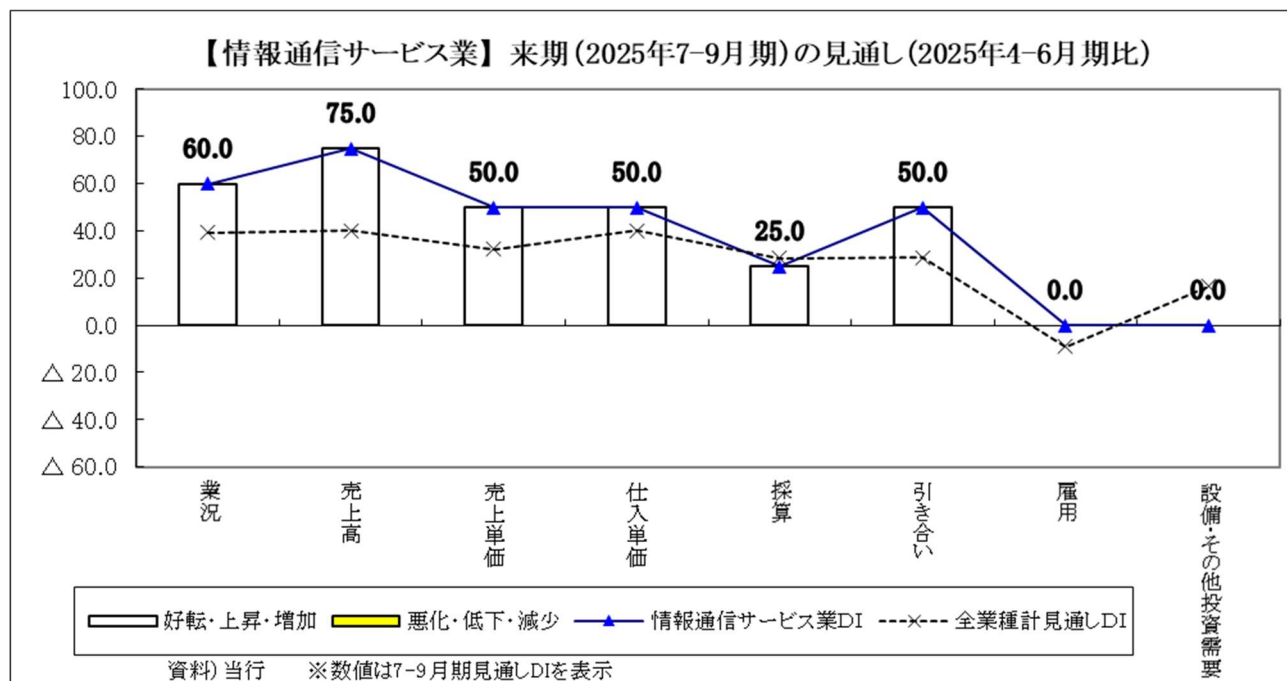


6. 情報通信サービス業（回答企業：5社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は 0.0 となりました。システム開発事業者では、安定した継続業務受注や売上単価の引き上げを進めた事業者がみられます。一方で、人件費高騰などにより採算（△40.0）が悪化した事業者がみられます。雇用については、全事業者が不変と回答しました。

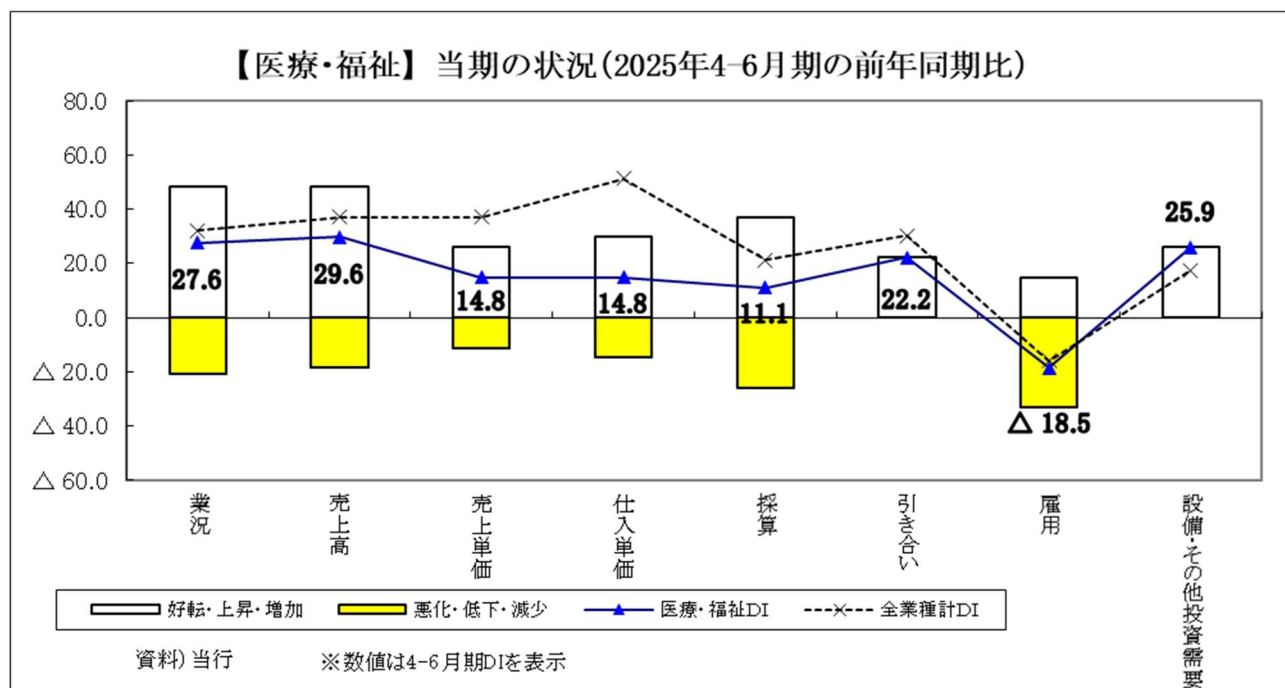


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は 60.0 となりました。安定したシステム開発等業務の受注などから、改善を見込む事業者がみられます。受注単価の引き上げや業務効率化などにより、採算（25.0）の確保を見込む事業者がみられます。雇用及び設備投資需要については、全事業者が不変と回答しました。

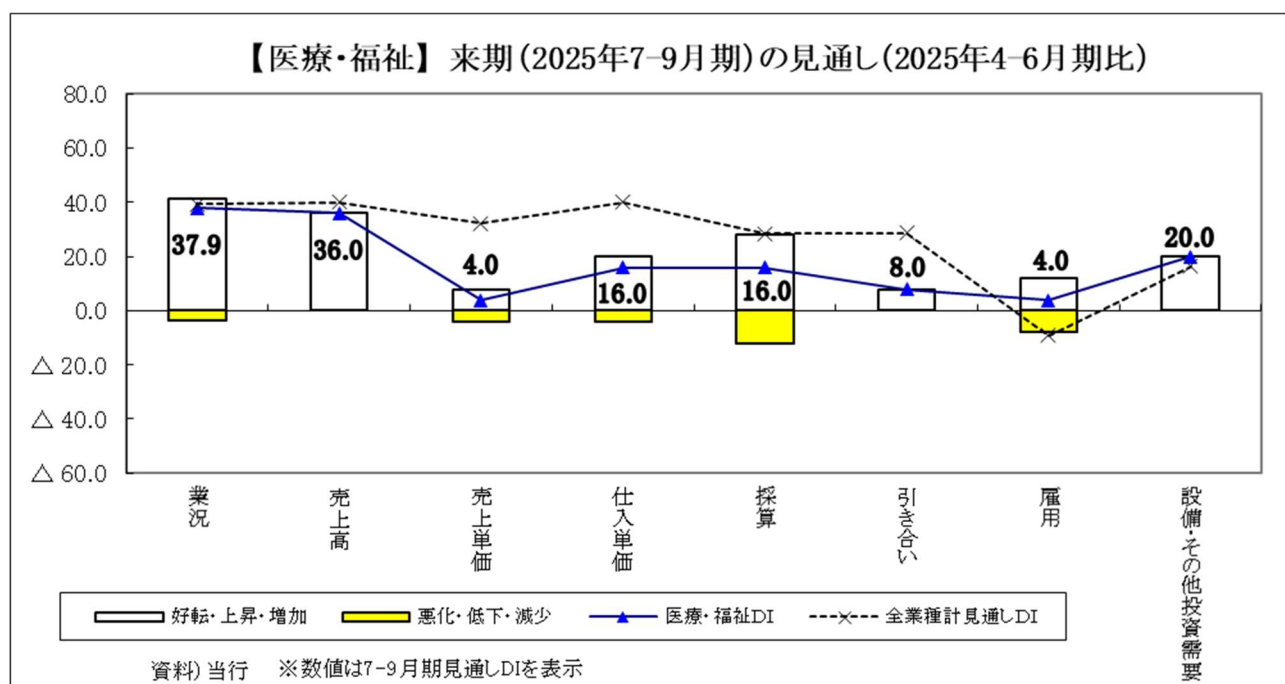


7. 医療・福祉（回答企業：29 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **27.6** となりました。売上高（29.6）は、利用者数が増加した介護事業者も一部みられます。また診療報酬や福祉サービス等報酬は大きく変化しない一方、食材費など仕入単価（14.8）やその他人件費上昇などにより、採算（11.1）は他の業種と比較し低くなっています。

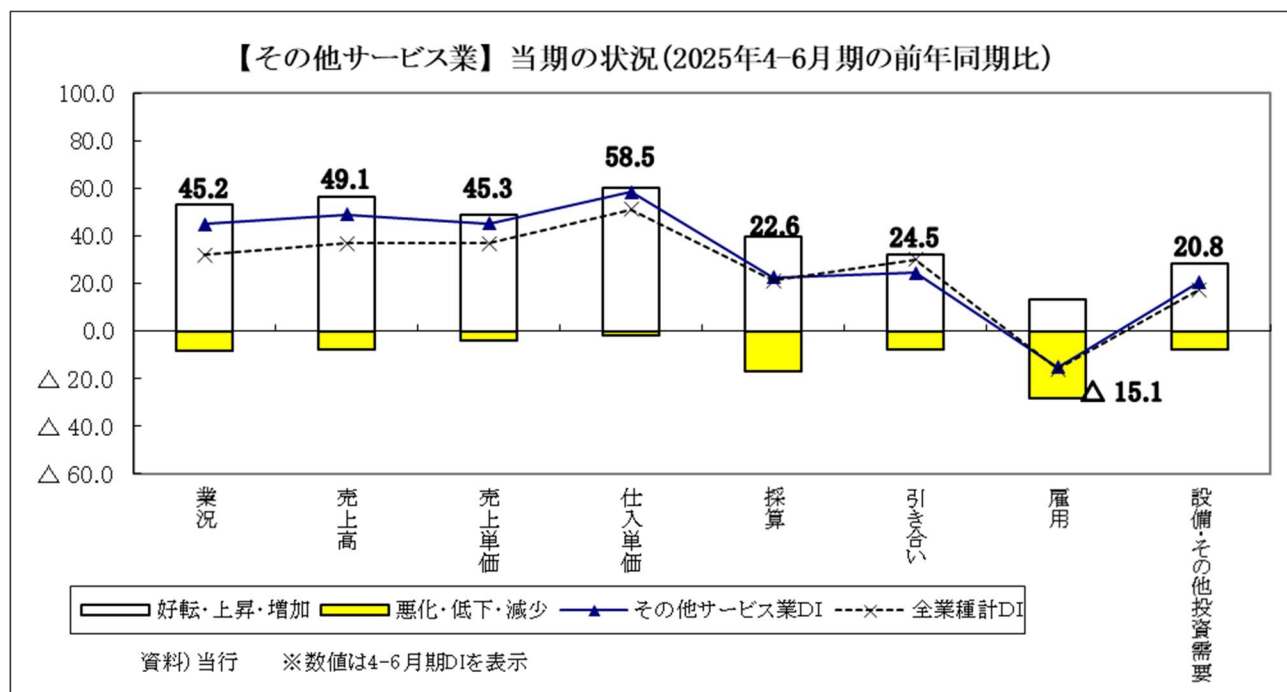


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は安定した診療や介護施設利用の需要増加から **37.9** となり、業況改善の動きが見込まれます。一方、光熱費や人件費、仕入費などの費用増加により採算改善に課題のある事業者もみられます。

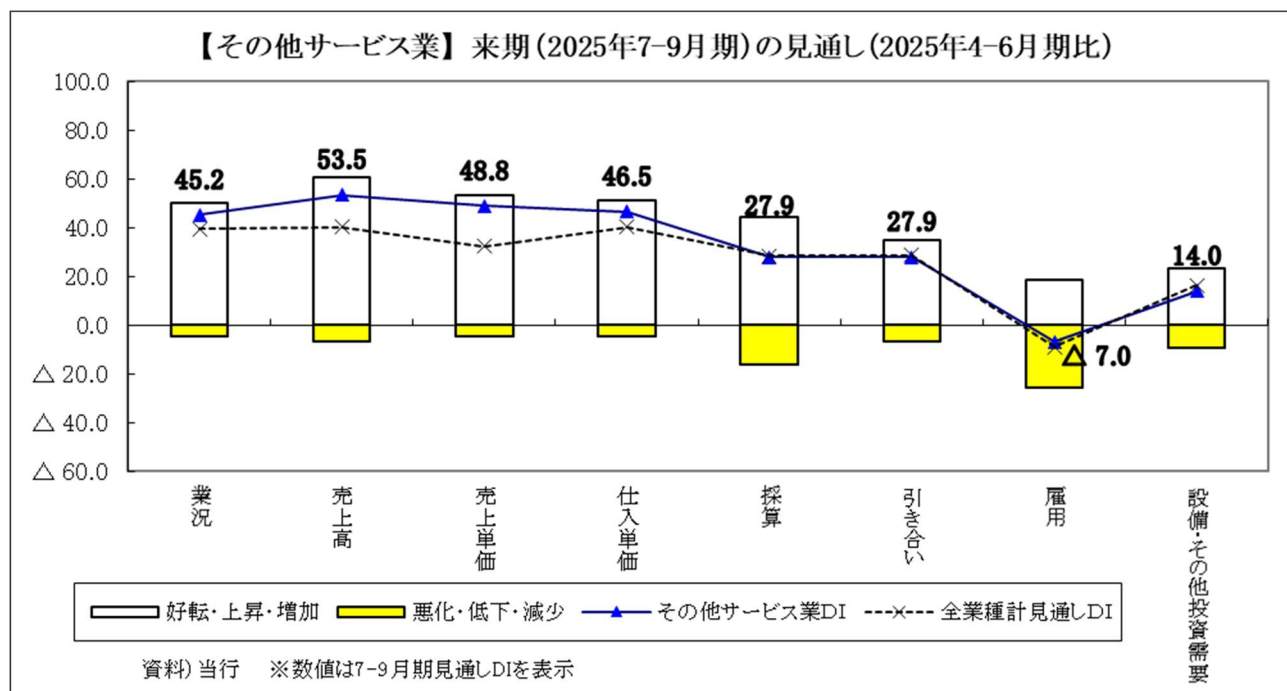


8. その他サービス業（ホテル、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など）
（回答企業：62 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **45.2** となりました。インバウンド含む観光客増加などから業況改善がみられます。また、需要増加に伴い売上単価（45.3）も上昇しました。雇用（△15.1）は、不足感がみられます。

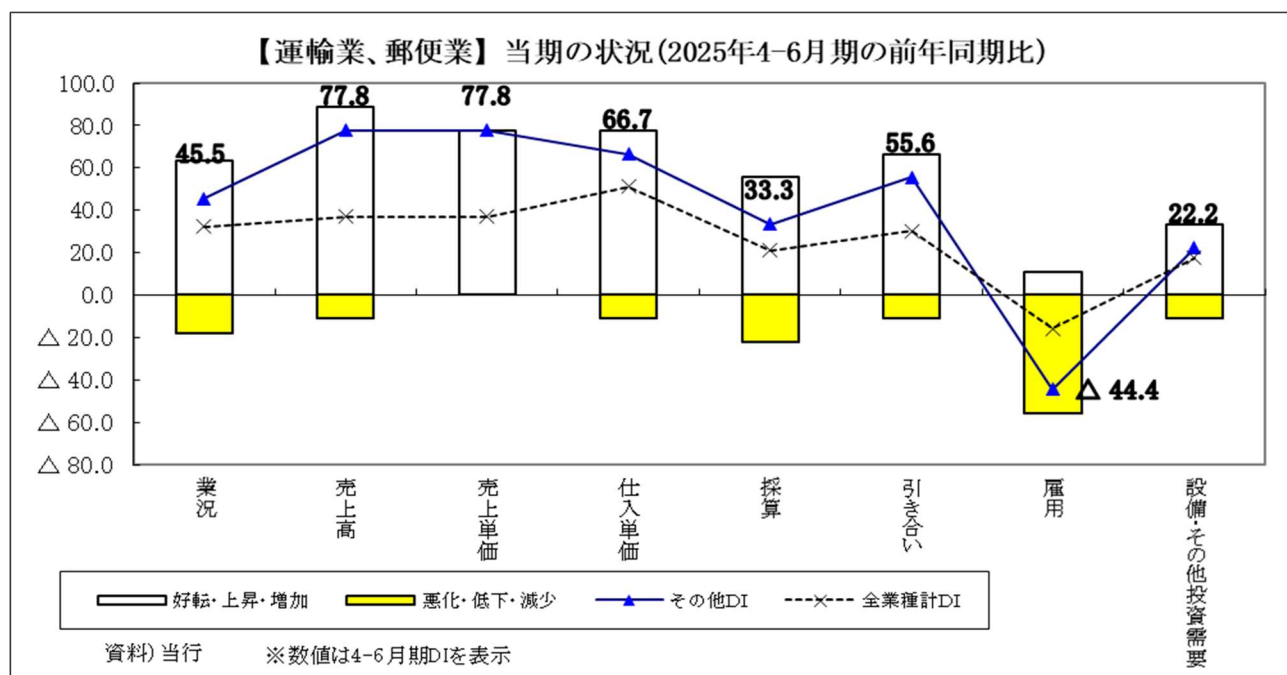


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **45.2** となり、業況改善の動きが見込まれます。引き続きインバウンド含む観光客増加から改善を見込む事業者がみられます。雇用（△7.0）はマイナスとなっており、不足感が続く見通しとなっています。

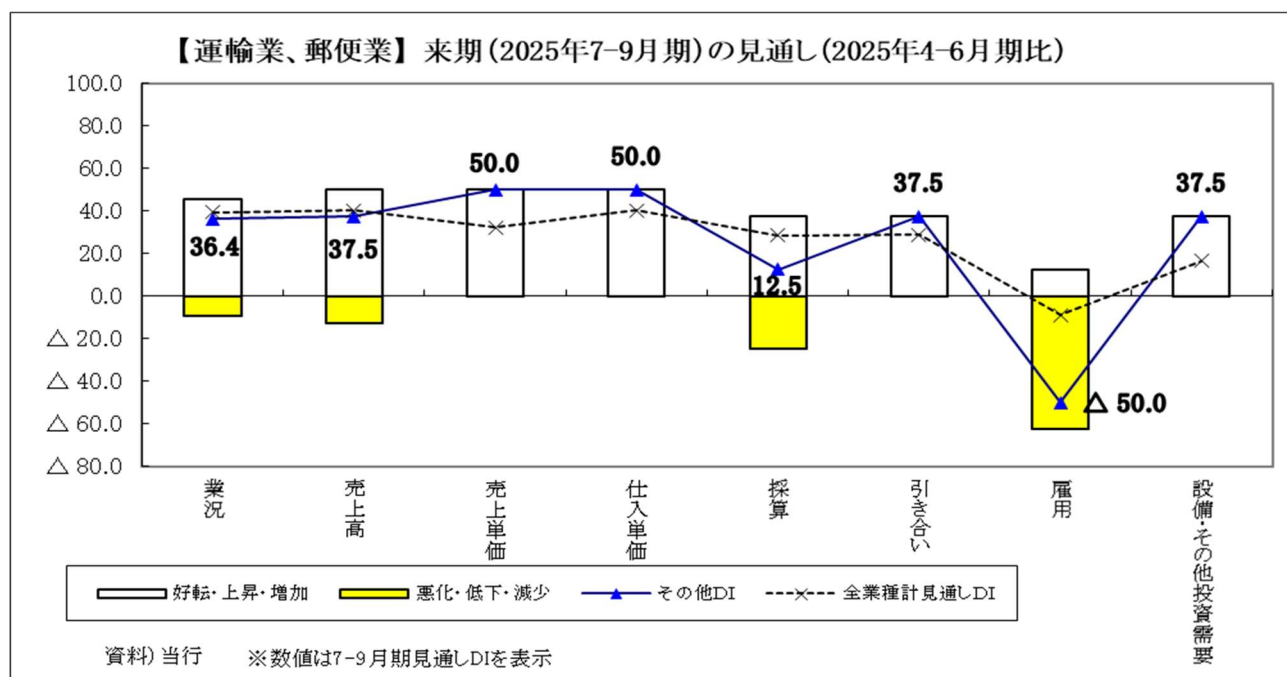


9. 運輸業、郵便業（回答企業：11 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は、**45.5** となり業況改善がみられます。タクシーや観光船などの旅客運送業は、観光客増加により改善した事業者がみられます。売上単価（77.8）は他の業種と比較しポイントは高くなっています。雇用（△44.4）は大きくマイナスとなっており、ドライバーの不足感がみられます。

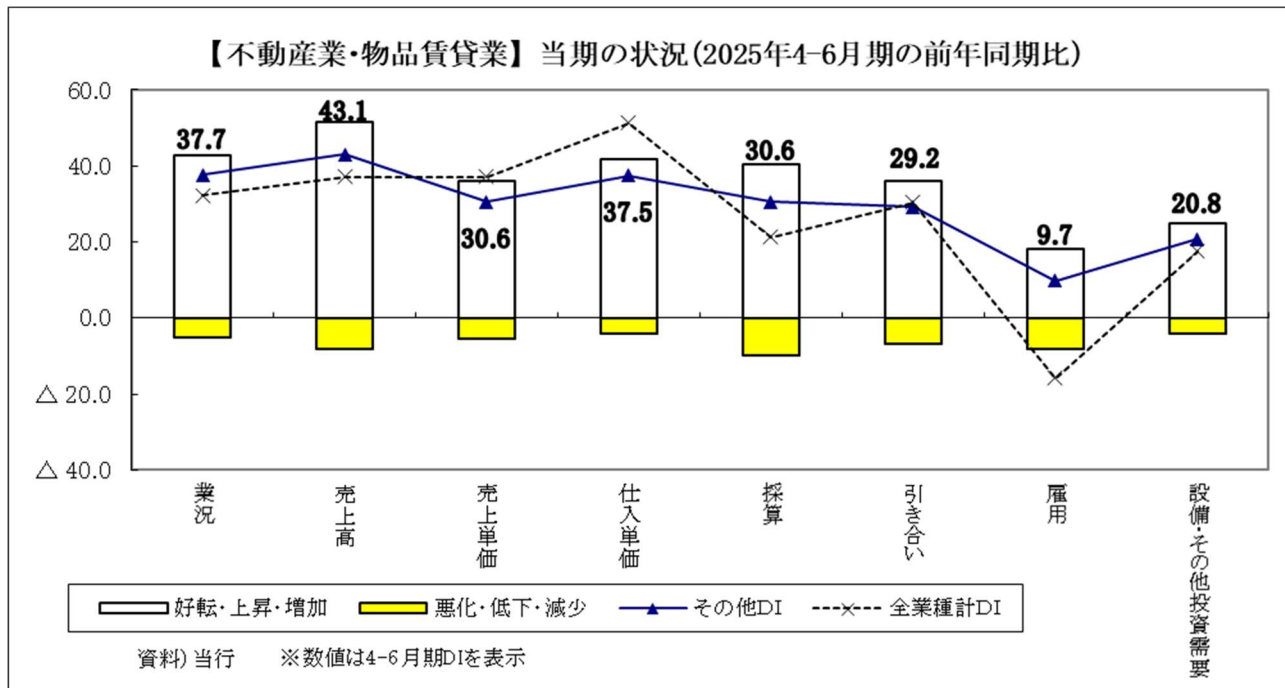


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は 36.4 となりました。タクシーや観光船などの旅客運送業は、観光客増加などにより業況改善の動きが続くことが見込まれています。雇用（△50.0）は不足感が続く見通しとなっています。

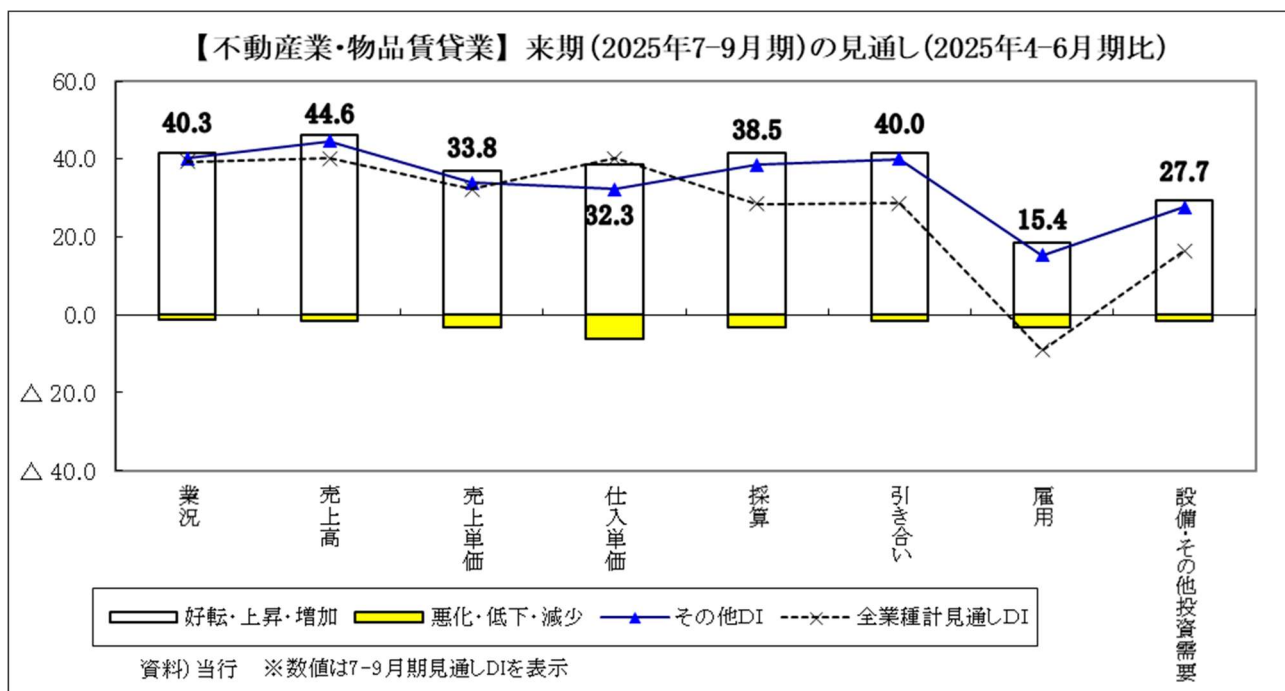


10. 不動産業、物品賃貸業（回答企業：77 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **37.7** となり、業況の改善がみられます。不動産売買・仲介業は売上単価が上昇した事業者がみられます。引き合いが増えた事業者もみられ、不動産需要の高さが窺えます。

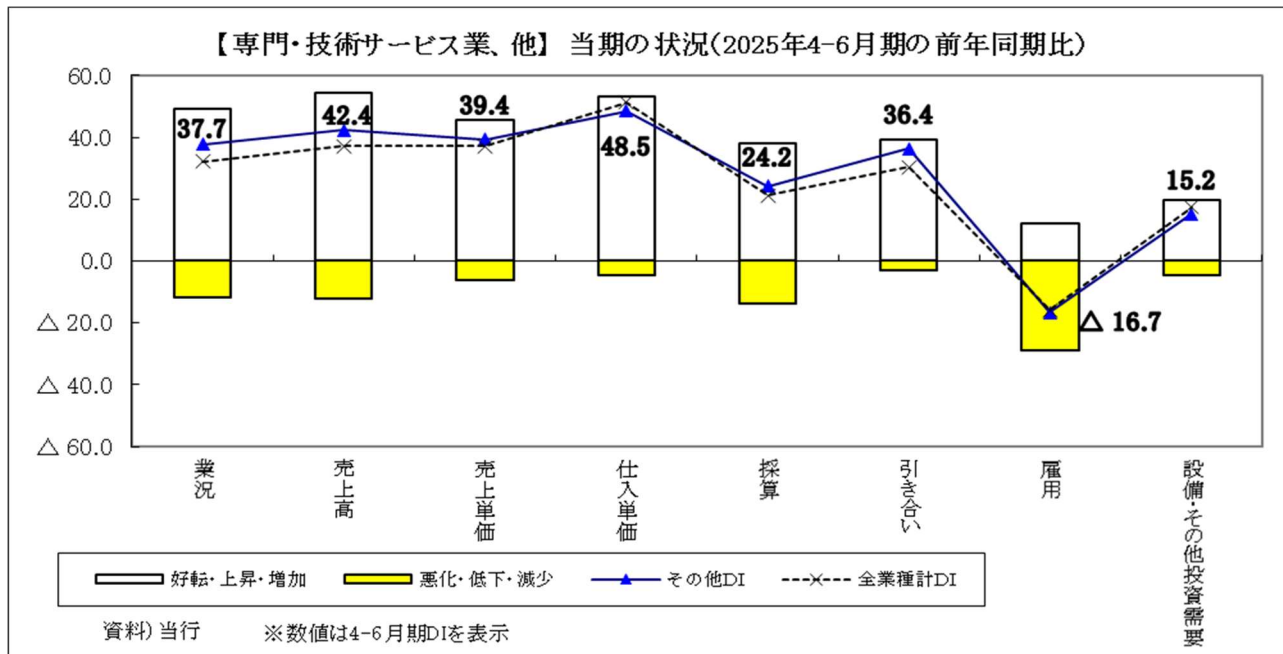


- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **40.3** となり業況改善の動きが見込まれます。引き合い（40.0）は観光需要増加の影響などにより、他業種と比較しポイントは高くなっています。北部ではテーマパークの開業予定もあり、引き続き高い不動産需要を見通す事業者がみられます。

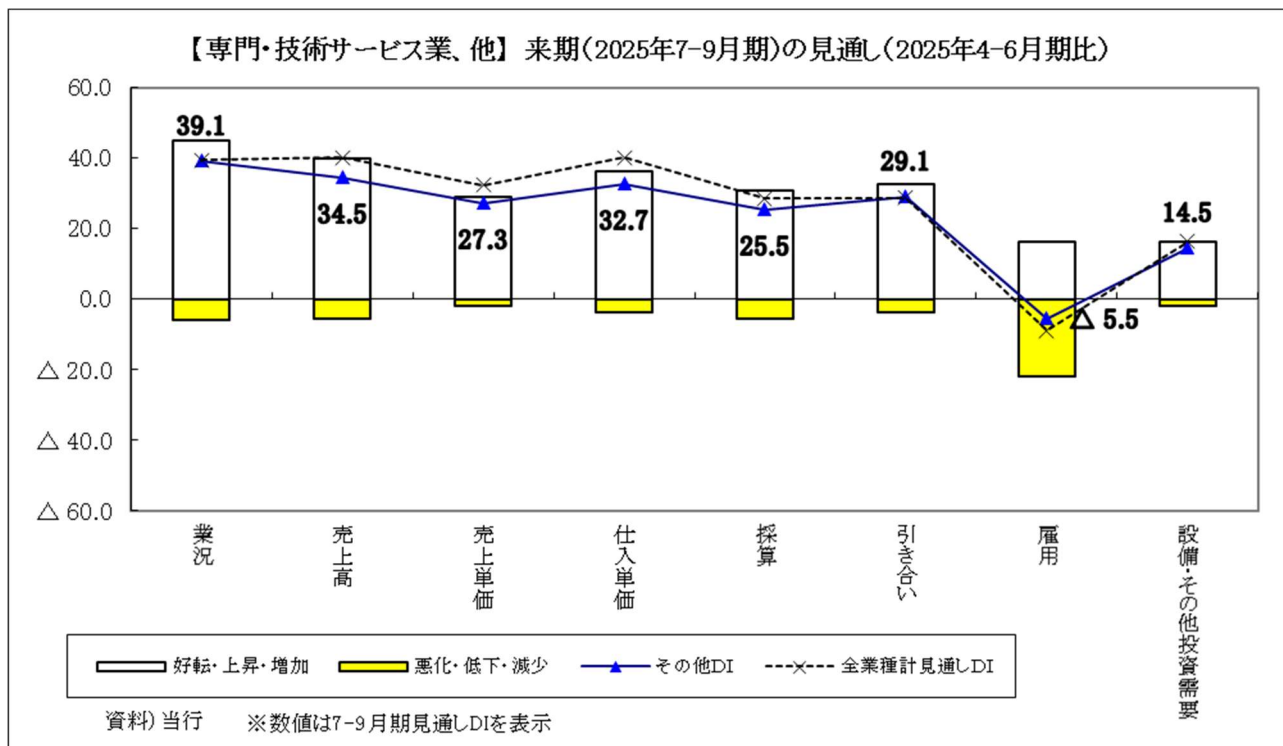


11. 専門・技術サービス業、他（回答企業：69 社）

- 当期の業況 DI（前年同期比）は **37.7** となり、業況の改善がみられます。売上単価（39.4）により採算（24.2）が改善した事業者がみられます。雇用（△16.7）はマイナスとなっており、不足感がみられます。



- 来期の見通し業況 DI（当期比）は **39.1** となり、業況改善の動きが見込まれます。建設コンサルタント業や自動車整備業など、同様推移を見込む事業者が多くみられます。引き合い（29.1）は安定推移する見通しです。



IV. まとめ（総括）

➤ 【当期の業況 DI】

当期（2025 年 4-6 月期）の業況 DI は **32.2**（前年同期比）と 15 期連続のプラスとなりました。項目別では、売上高や引き合いなどで業況改善がみられます。一方、仕入単価の上昇が続いており、採算についてポイントは低くなっています。雇用はマイナスが続いており、不足感がみられます。

業種別では、観光客の増加などにより【運輸業、郵便業】や【その他サービス業（宿泊・飲食等）】、【小売業】、【卸売業】など多くの業種で業況改善がみられます。

➤ 【来期の見通し業況 DI】

来期（2025 年 7-9 期）の見通し業況 DI は **39.3**（当期比）となりました。項目別では、売上高や引き合い、採算などで業況改善の動きが見込まれます。雇用においては不足感が続く見通しとなっています。

業種別では、全業種においてプラスとなっています。【情報通信サービス業】は受注単価の引き上げ予定などからポイントは高くなっています。【製造業】や【その他サービス業（宿泊・飲食等）】、【小売業】、【運輸業、郵便業】は観光客増加や売上単価の引き上げ予定などから、ポイントは高くなっています。